Weekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease

週報 青森県感染症発生情報（2024 年第 25 週）

発行　青森県感染症情報センター(2024 年 6 月 27 日)
（青森県衛生研究所:担当　細菌部）
TEL 017-736-5411、 FAX 017-736-5419
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/eisei/infection-survey.html

Ⅰ　第 25 週の発生動向（2024/6/17～2024/6/23）

1．**咽頭結膜熱**については、**むつ保健所管内**で**警報**が継続しています。
2．**水痘**については、**むつ保健所管内**で**警報**が継続しています。
3．**伝染性紅斑**については、**上十三保健所管内**で**警報**が継続しています。

Ⅱ　第 25 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

（ピンク）は警報、（黄）は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青（東地方＋青森市保健所）		中南（弘前保健所）		三八（三戸地方＋八戸市保健所）		西北（五所川原保健所）		上北（上十三保健所）		下北（むつ保健所）		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数
小児科内科	インフルエンザ							1	0.14					1	0.02	-5
	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症	27	2.25	7	0.58	27	2.25	26	3.71	15	1.67	9	1.50	111	1.91	-1
小児科	ＲＳウイルス感染症	8	1.14	17	2.13	6	0.86	4	0.80	9	1.50			44	1.19	4
	咽頭結膜熱	4	0.57	3	0.38	5	0.71	2	0.40			10	2.50	24	0.65	-7
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	12	1.71	18	2.25	15	2.14	31	6.20	20	3.33	7	1.75	103	2.78	-6
	感染性胃腸炎	19	2.71	21	2.63	14	2.00	18	3.60	4	0.67	1	0.25	77	2.08	-37
	水痘			5	0.63			3	0.60	3	0.50	18	4.50	29	0.78	13
	手足口病	8	1.14	2	0.25					1	0.17			11	0.30	8
	伝染性紅斑	1	0.14							12	2.00			13	0.35	-4
	突発性発しん	3	0.43	1	0.13	7	1.00			3	0.50			14	0.38	6
	ヘルパンギーナ	2	0.29	9	1.13									11	0.30	5
	流行性耳下腺炎															-2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.10	1
基幹	感染性胃腸炎(ﾛﾀｳｲﾙｽ)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											3	3.00	3	0.50	-1
	無菌性髄膜炎															-1

感染症の窓

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、発熱と口の中の粘膜にあらわれる水疱性の発疹を主症状とする夏かぜの一種で、乳幼児を中心に流行します。病原体は、コクサッキーウイルスＡ群の場合が多いですが、原因となるウイルスは複数あるため、何度でも罹患する可能性があります。

過去 10 年間における県全体の定点当たり報告数の週別推移は図のとおりです。

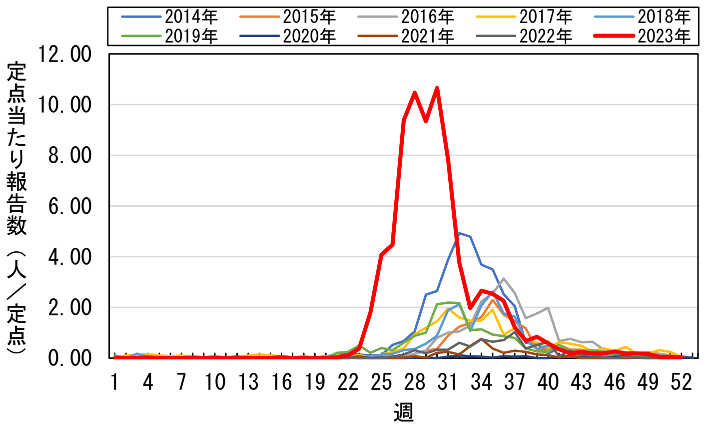


図　過去 10 年間における県全体の定点当たり報告数の週別推移
（2014～2023 年、ただし 2023 年は速報値）

2023 年の県全体の定点当たり報告数は、第 24 週から急激に増加し、警報レベルとなる保健所管内が出始めました。ピーク時の県全体の定点当たり報告数は、第 30 週の 10.66 人／定点であり、この頃には、県内 6 つの保健所管内のうち、5 つの保健所管内で警報レベルとなりました。2024 年第 24 週時点では、警報レベルとなる保健所管内は確認されていませんが、2023 年の事例のように、急激に患者数が増加することがありますので、今後の動向に注意が必要です。

主な感染経路は、飛沫感染や接触感染ですので、流行時には、うがいや手洗いなどの基本的な感染対策を徹底しましょう。特に、症状が回復した後も 2～4 週間の長期にわたり、便にウイルスが排出されることがありますので、おむつ等を処理する際には、マスクや手袋を使用するなど取扱いに注意しましょう。

〇詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞IDWR2023 年第 28 号＜注目すべき感染症＞ヘルパンギーナ・RS ウイルス感染症(国立感染症研究所 HP)

Ⅲ　全数把握対象疾患

・**結核**（二類感染症）：弘前２人、八戸市２人　（2024年計：　47人）
・**レジオネラ症**（四類感染症）：上十三１人　（2024年計：　9人）
・**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**（五類感染症）：青森市１人　（2024年計：　8人）
・**侵襲性インフルエンザ菌感染症**（五類感染症）：弘前１人　（2024年計：　2人）
・**百日咳**（五類感染症）：むつ１人　（2024年計：　10人）

Ⅳ　病原体検出情報　※（ ）内は、検査材料及び検体採取日

水痘患者（咽頭ぬぐい液、水疱内容物 6/5～6/6）・・・ヒトライノウイルス A：弘前１人、VZV：弘前１人
リケッチア感染症患者（血液、痂皮、6/12）・・・*Orientia tsutsugamushi*（Karp 型）：弘前１人

Ⅴ　保健所管内別全数把握対象疾患発生状況　（2024年第22週～2024年第25週）

週	東青（東地方保健所+青森市保健所）	中南（弘前保健所）	三八（三戸地方保健所+八戸市保健所）	西北（五所川原保健所）	上北（上十三保健所）	下北（むつ保健所）
22		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人	つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人 梅毒1人	梅毒1人	
23	つつが虫病1人	E型肝炎1人			水痘（入院例）1人	
24	アメーバ赤痢1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	レジオネラ症1人 梅毒1人		侵襲性肺炎球菌感染症1人	
25	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	侵襲性インフルエンザ菌感染症1人			レジオネラ症1人	百日咳1人

Ⅵ　結核（二類感染症）　（2024年第22週～2024年第25週）

（人）

週	東青（東地方保健所+青森市保健所）	中南（弘前保健所）	三八（三戸地方保健所+八戸市保健所）	西北（五所川原保健所）	上北（上十三保健所）	下北（むつ保健所）
22		1				
23		1	1			
24		1				
25		2	2			

Ⅶ　全数把握対象疾患発生状況（全国−青森県）（注：発生状況は**速報値**であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国　（2024 年第 1 週～第 24 週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムポックス
累積報告数	6878	2	21	820	17	4	252	76	5	14

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症
累積報告数	5	6	1	67	1	98	88	142	1	2

分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	15	6	825	3	236	94	871	16	268	12

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	73	1060	446	18	317	25	1368	212	6183	99

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	34	61	457	3	24	4

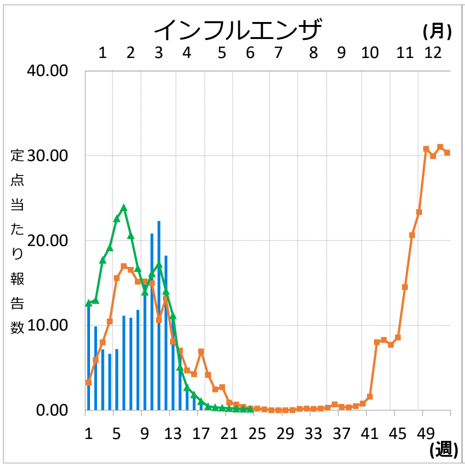
青森県　（2024 年第 1 週～第 25 週までの累計）

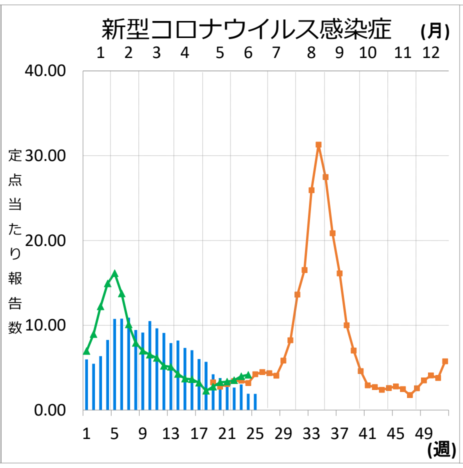
分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	47	8	1	7	9	1	18	2	4	8

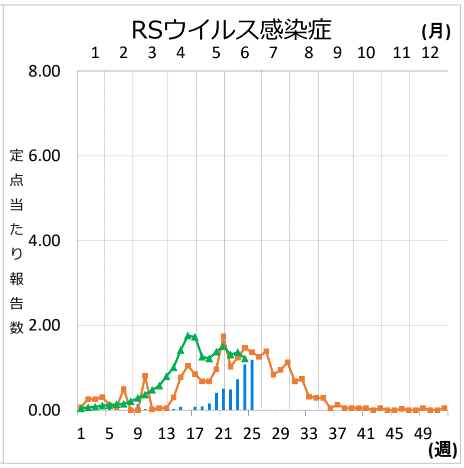
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳
累積報告数	1	2	12	2	12	2	10

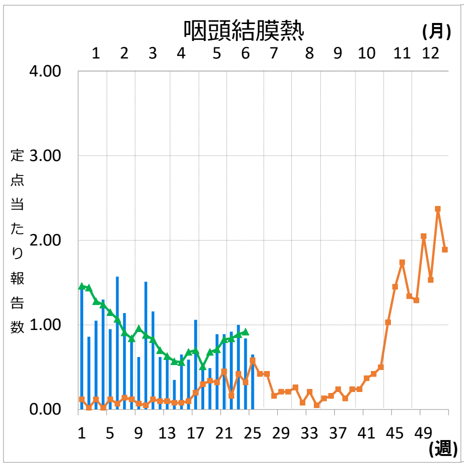
Ⅷ　インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2024 年第 25 週、ただし全国は前週）

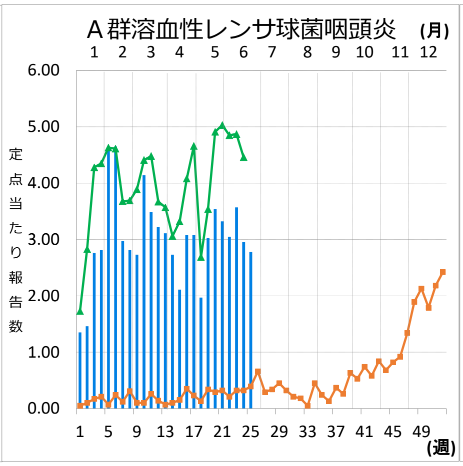
グラフの説明☞──は 2024 年青森県、■──■は 2023 年青森県、▲──▲は 2024 年全国

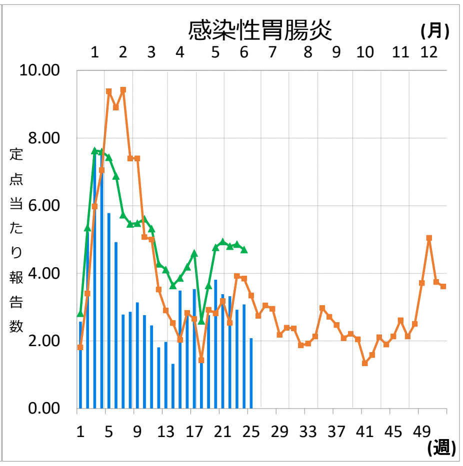


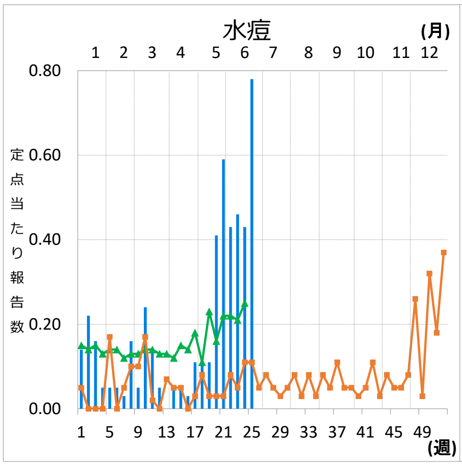


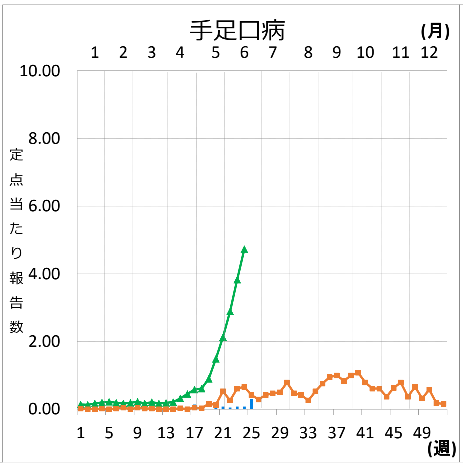


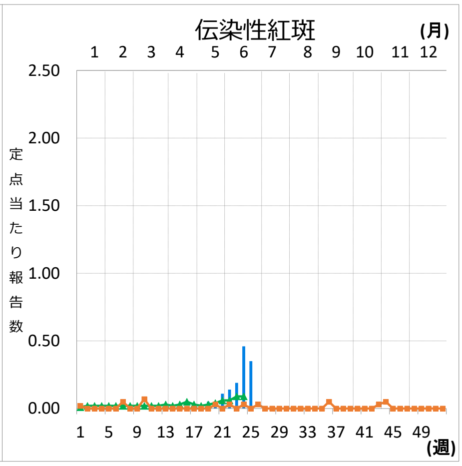


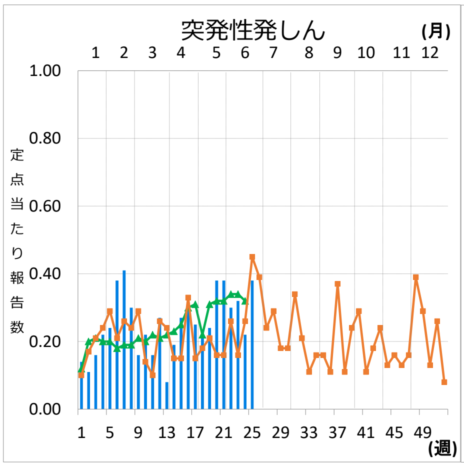


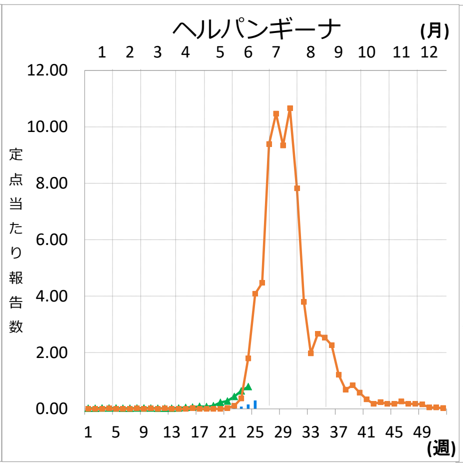


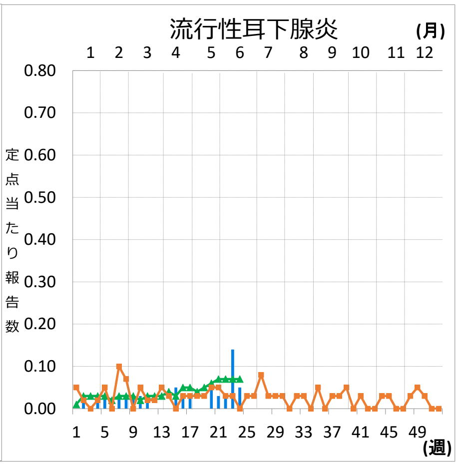






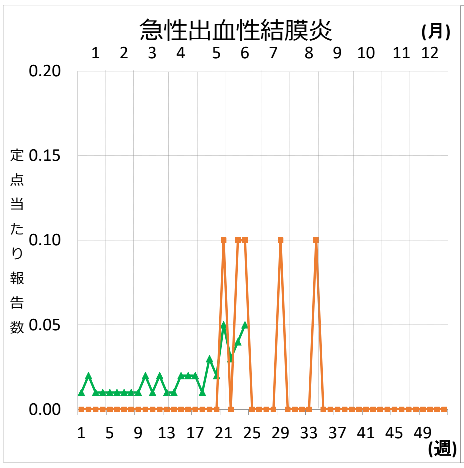


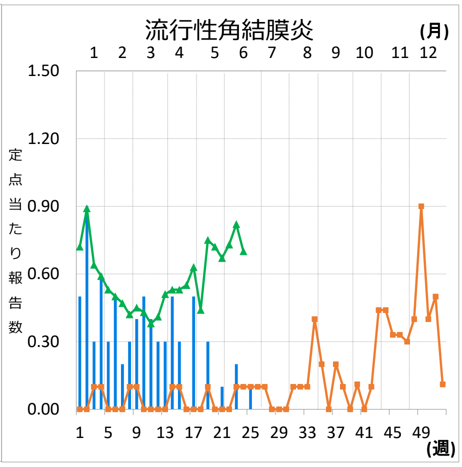




Ⅸ　眼科定点把握対象疾患週別推移（2024 年第 25 週、ただし全国は前週）

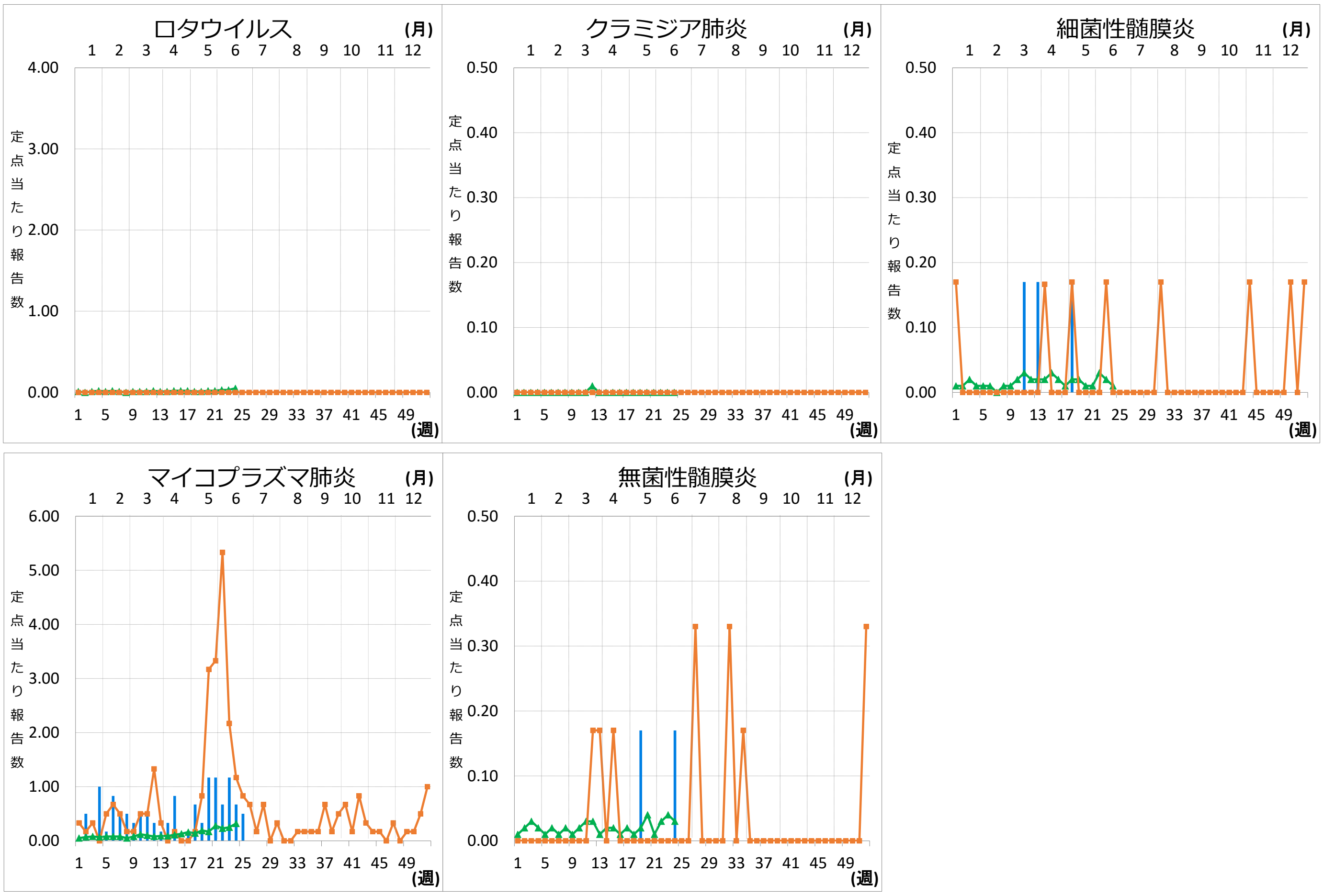
グラフの説明☞——は 2024 年青森県、■——■は 2023 年青森県、▲——▲は 2024 年全国





Ⅹ　基幹定点把握対象疾患週別推移（2024 年第 25 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞——は 2024 年青森県、■——■は 2023 年青森県、▲——▲は 2024 年全国



Ⅺ　社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成１８年２月２２日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2024 年第 25 週

報告はありませんでした。

2024 年報告件数及び発症者数

施設種別＼月（週）		1月 1-5週	2月 6-9週	3月 10-13週	4月 14-17週	5月 18-21週	6月 22週	23週	24週	25週	26週	7月 27-30週	8月 31-34週	9月 35-39週	10月 40-43週	11月 44-47週	12月 48-52週	計 （施設別）
介護・老人福祉関係施設	件数	4	7	1	0	0	0	0	0	0								12
	発症者数	78	101	16	0	0	0	0	0	0								195
児童・婦人関係施設等	件数	9	0	1	1	0	0	0	0	0								11
	発症者数	178	0	17	15	0	0	0	0	0								210
障害関係施設	件数	3	0	1	0	0	0	0	0	0								4
	発症者数	55	0	12	0	0	0	0	0	0								67
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0
計（月別）	件数	16	7	3	1	0	0											27
	発症者数	311	101	45	15	0	0											472